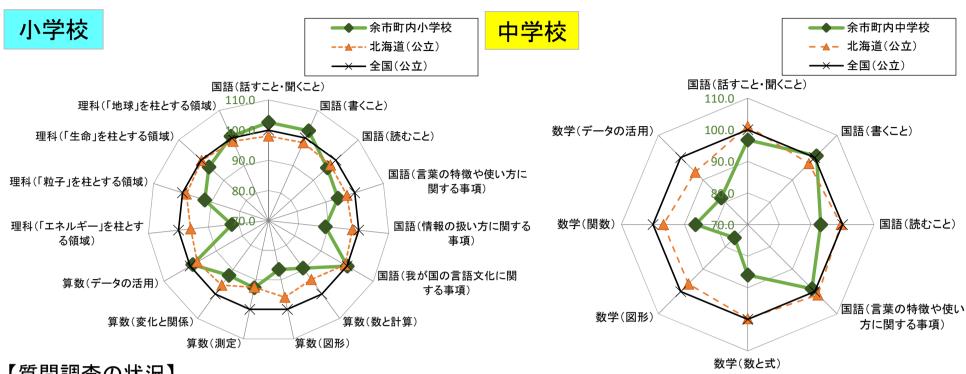
(小学校数:4校、児童数:123人)(中学校数:3校、生徒数:100人) ■余市町内の状況及び学力向上策

【教科全体の状況】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

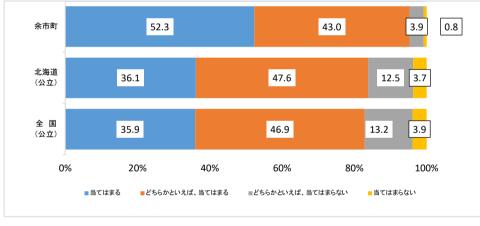
【平均正答率・平均IRTスコア】 ※中学校理科は平均IRTスコア						
【十均正合学,1	※中学校理科は平均IRTスコア					
	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
余市町	66	52	54	53	40	477
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503



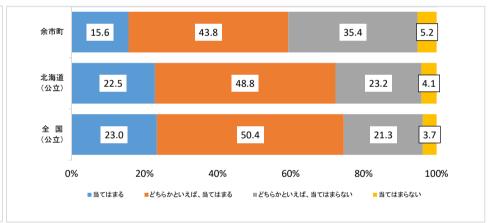
【質問調査の状況】

小学校

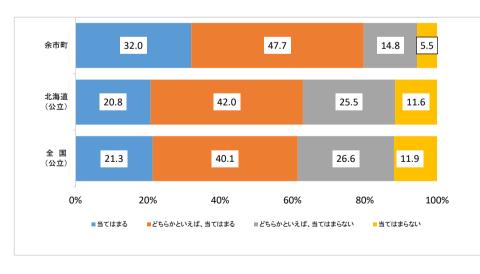
【児童質問】 国語の授業の内容はよく分かりますか



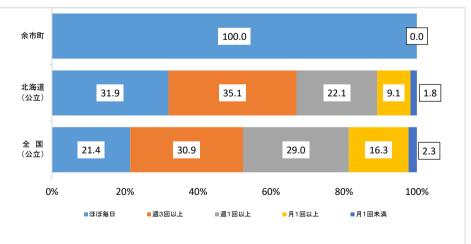
【生徒質問】学習した内容において、分かった点や、よく分からなかった点を見 直し、次の学習につなげることができていますか



【児童質問】国語の勉強は得意ですか

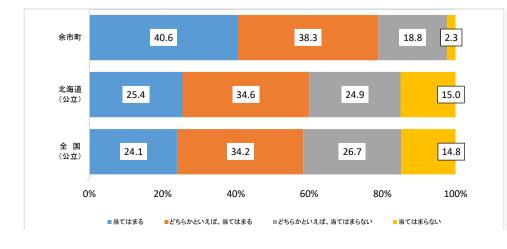


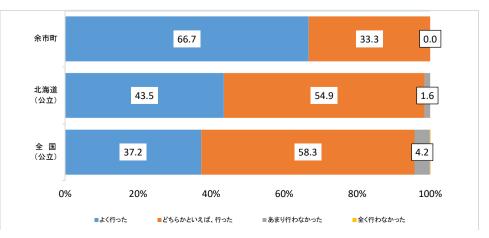
【学校質問】生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に 配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



【児童質問】国語の勉強は好きですか

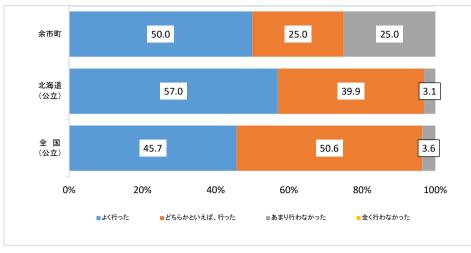
【学校質問】調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度まで に、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、 文章を整えることができるような指導を行いましたか

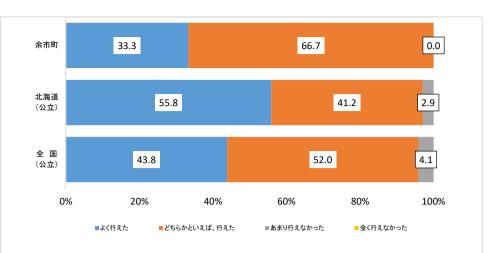




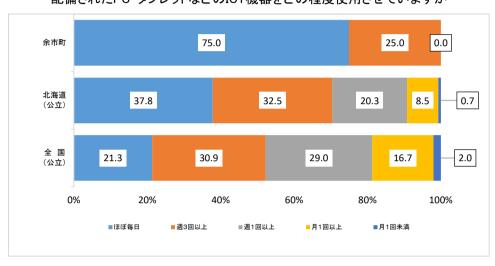
【学校質問】算数の授業において、前年度までに、答えを求めさせるだけでな く、どのように考え、その答えがどうなったのかなどについて、児童に筋道を立 てて説明させるような授業を行いましたか

【学校質問】調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度まで に、授業で、学習上つまずいた生徒に対する対応を行えていましたか





【学校質問】 生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に 配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

町全体で、国語科の授業改善に関わる研修会を定期的に開 催するとともに、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、「催するとともに、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、 話の組立てなどを工夫して発表する活動の充実など、令和4|叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるような 年度から始めた授業改善の成果が現れ、国語の「話すこと・」指導など、令和4年度から始めた授業改善の成果が現れ、国 聞くこと」「書くこと」の領域、「我が国の言語文化に関する事|語の「書くこと」の領域で平均正答率が全国及び全道を上回っ |項」で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。ま|たと考えられる。 |た同様に「国語の勉強が得意」「国語の勉強が好き」「国語の 授業内容がよく分かる」と答えた児童の割合が全国及び全道 平均を上回ったと考えられる。

中学校

町全体で、国語科の授業改善に関わる研修会を定期的に開

小・中学校において、「児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレッ トなどのICT機器をほぼ毎日活用した」と回答した学校の割合が全国及び全道を上回っているものの、小学校において、「算 数の授業において、前年度までに、答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えがどうなったのかなどについて、 児童に筋道を立てて説明させるような授業を行った」と肯定的に回答した学校の割合が全国及び全道平均を下回り、中学校 において、「数学の授業で、学習上つまずいた生徒に対する対応をよく行った」と回答した学校の割合が全国及び全道平均を 下回ったことが、小・中学校ともに全国及び全道平均を下回った要因と考えられる。

【余市町の学力向上策】

- 国語科において、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する活動の充実等、授 業改善に向けた研修会及び継続的な授業改善に向けた取組の実施。
- ◎ 算数・数学科において、互いに説明し合う場面の設定など協働的な学びを充実させるための校内研修等を行い、一人ひ とりの可能性を伸ばすとともに、誰一人取り残さない授業づくりの実施。
- ◎ 算数・数学科において、個別最適な学びを効果的に実施するために、児童生徒の既習内容の定着を的確にとらえ、AIド リルの活用など、学習内容の系統性を踏まえた補充的な学習の実施。